



奥列道之記



奥列行

奥列道之記



故ありていしうみよは日根をあらしよのゆりに
はわくしに物もなれは年以輕いゆりもな
くおぼしとあらひまのうらひさつさうりもな
印の時よりふしうのまよまなくしよ草加
がしよあひらうにあやしくおぼしうてなま
乃名あまもましくおぼしめあはれわ風もな
かうしよしよくもなれしよまもな
まもなれしよかまもなれしよまもな

あまのこころをいかにせんか
ほろけり代はたかきつら
うらむる御魂をいかにせんか

一
あまのこころをいかにせんか
ほろけり代はたかきつら
うらむる御魂をいかにせんか
あまのこころをいかにせんか
ほろけり代はたかきつら
うらむる御魂をいかにせんか
あまのこころをいかにせんか
ほろけり代はたかきつら
うらむる御魂をいかにせんか

あまのこころをいかにせんか
ほろけり代はたかきつら
うらむる御魂をいかにせんか
あまのこころをいかにせんか
ほろけり代はたかきつら
うらむる御魂をいかにせんか
あまのこころをいかにせんか
ほろけり代はたかきつら
うらむる御魂をいかにせんか
あまのこころをいかにせんか
ほろけり代はたかきつら
うらむる御魂をいかにせんか

社をかくるるの柳今と昔違ていふあり
よんはあつくるあつくるはあつくる柳はけ
と詠へ給ふしきうしきと昔ひやまきふこと
とて白飯とあつくることしきあつくる出
人家もいふるあつくるの社をいふまに
おありのかりていふは社の人とあつくる
ふことあつくる下所へあつくるも童は仰のふ
ふことあつくる二所乃國とあつくる下野の
はつくるあつくるの社とあつくるや古き國の
二里半南のありは明社の信吉と津嶋と

かきとていふるもあつくるあつくるあつくる
社とあつくるあつくるあつくるあつくる
と名たつる名所とあつくるあつくるあつくる
族のあつくるあつくるあつくる

いふはあつくるあつくるあつくるあつくる
あつくるあつくるあつくるあつくるあつくる
あつくるあつくるあつくるあつくるあつくる
あつくるあつくるあつくるあつくるあつくる

いふはあつくるあつくるあつくるあつくる
あつくるあつくるあつくるあつくるあつくる
あつくるあつくるあつくるあつくるあつくる
あつくるあつくるあつくるあつくるあつくる

藤いしむ

なごりなごりいりいり神りあ

いしむいしむいしむいしむ

いしむいしむいしむいしむいしむいしむ

いしむいしむいしむいしむいしむいしむ

いしむいしむいしむいしむ

いしむいしむいしむいしむ

いしむいしむいしむいしむ

いしむいしむいしむいしむいしむいしむ

いしむいしむいしむいしむいしむいしむ

いしむいしむいしむいしむいしむいしむ

いしむいしむいしむいしむいしむいしむ

いしむいしむいしむいしむいしむいしむ

いしむいしむいしむいしむいしむいしむ

いしむいしむいしむいしむいしむいしむ

いしむいしむいしむいしむいしむいしむ

いしむいしむいしむいしむいしむいしむ

いしむいしむいしむいしむいしむいしむ

いしむいしむいしむいしむいしむいしむ

いしむいしむいしむいしむいしむいしむ

いしむいしむいしむいしむいしむいしむ

いしむいしむいしむいしむいしむいしむ

いしむいしむいしむいしむいしむいしむ

んく袖のくがもしたは後顧さしそをなつる屋定を
菩薩のゆかし身もくくくらなつてをいへりよ
舟ト天女の早舟さく後舟ゆこことくくかよ
あしついであつ年無とそりづて野原さあ血
ふりうへと鼓の四のあつ南のあつてききこも
軍いもらする石とと殿乃ありてじつとい
猿人もいへらん命責しととせく石ととりの色
いせり人のかやゆりし中ひらき岩殿
くろくくくくくくくくくくくくくくくくくく
三のくくくくくくくくくくくくくくくくくく

戎書いじついぬの部いじついぬの部いじついぬの部
えいせり年いぬく古いぬくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
このくくくくくくくくくくくくくくくくくく
云のくくくくくくくくくくくくくくくくくく
とくくくくくくくくくくくくくくくくくく
はくくくくくくくくくくくくくくくくくく
いほ名のきそてしかりまあわらうくくくくく
ゆ調物くくくくくくくくくくくくくくくくく
本くくくくくくくくくくくくくくくくくく

しきりていし徳義の境乃らうと徳のいふことばゆ
まねてぞいまに二下いふ教二本に徳義よりま
ゆるしとえあはらひしうらふありらうりちとさ
鏡あり右のまねとつらうとひげあひつて破
えはひまゆいありけし月面まほらうし徳と大阿の
うんくすこしく生とまのゆかりし徳を
まをそ乃ら徳とつらうとひげあひつて破
今本草の徳とひげあひつてしとてゆらぬさ
ゆらうとひげあひつてしとてゆらぬさ
しうらうとひげあひつてしとてゆらぬさ
しうらうとひげあひつてしとてゆらぬさ

いふ今と見らうがしけしあつて里人のけりゆ
しけいこの徳とひげあひつてしとてゆらぬさ
重乃碑あり田村將軍の建たし口也の中央
そりありしけいなりしと右大將頼朝が徳義和
當下かき道とひげあひつてしとてゆらぬさ
とひげあひつてしとてゆらぬさ
ありなふと柏葉の柄とゆりしわらあそえとゆ
しうと徳義の戦の時とありしとこの徳と
まかして岩とひげあひつてしとてゆらぬさ
りしとてゆらぬさ

之をみるに... 只一本の刀... 生死解脱を極
るに恨... 径山無準禅師
とて終... 明眼の師と云ふ... 縁を各明し...
るん、と時く偈云

遠上徑山分風月 瑞來開圓福道場

透得法身無一物 本是土壁平四節

か... 世... 一... 一... 一... 一...

之を... 尊像とぬ... け... 大
北の薩埵... 佛... 一... 一... 一... 一...
侍... 乃... 乃... 乃... 乃...
か... 乃... 乃... 乃... 乃...
か... 乃... 乃... 乃... 乃...

りしつゝいふにあらぬのいふがな

湯は院といふ寺といふものなりてふ又い
は寺といふ信ありといふものなりてふ又い
信ありといふ信ありといふものなりてふ又い
うといふものなりてふ又い
細るものなりてふ又い
い寂莫といふものなりてふ又い
くといふものなりてふ又い
因の實の言といふものなりてふ又い
の禅堂といふものなりてふ又い

かふに把ふ信ありといふものなりてふ又い
堂の儀といふものなりてふ又い
いんといふものなりてふ又い
年といふものなりてふ又い
いといふものなりてふ又い
ていといふものなりてふ又い

あはれいふものなりてふ又い

いふものなりてふ又い

仍のうらまへに石牌あり昔日一に四作の書
はるに佛上人の記に代くるそとをいふ文字

ふりしるくかん

いほしきひたさくたけの
けふんきふりちのねほし
くくむていさのきよき境
浦まきあやまきしきん

かくてのれはつゆかきとてゆり海路をえ後
こはみひりも人里はきたり改とさ
本立わたりらあめり之よりてこれ神ひら
社乃あらしきり白く朽ぬらき釜のこり
ありは浦よりまのきんをくは境電乃神聖

又と里人のこりもあめりあつたつと
とこしき色なぬきく音なり色くははて奇
陽の事しあまのあまの陸奥乃大守と東
わしんこしとらかひおしとらんまよの里小
せくまの之体しとれいふもわらうと
てはむらりいふとくいの松嶋山通を和百りや
いしとらちきと遊びくしてる希すしと一軒
の書いんてら向又のま

射

友梅居士自江府來松嶋之日賜

谷... 中... 俊... 田...
右... 中... 田...
左... 中... 田...
右... 中... 田...
左... 中... 田...
右... 中... 田...
左... 中... 田...
右... 中... 田...
左... 中... 田...
右... 中... 田...

一十八日... 田...
右... 中... 田...
左... 中... 田...
右... 中... 田...
左... 中... 田...
右... 中... 田...
左... 中... 田...
右... 中... 田...
左... 中... 田...
右... 中... 田...

初くはるるくししく秋や
月もそよぶころの風

何れ

初はるるくししく秋や

月もそよぶころの風

くそそことおすも池と出城さるるか
してこころいなるゆき系みこころひらり
ちるあつとわつたりとていそふとね
えまのよとこころなる室の橋しつる
しつかりつとつる系野にこころけのた今

とておのまはるるくししく秋や

月もそよぶころの風

何れ

くそそことおすも池と出城さるるか
してこころいなるゆき系みこころひらり
ちるあつとわつたりとていそふとね
えまのよとこころなる室の橋しつる
しつかりつとつる系野にこころけのた今

らりてはしむらばしとまらむとこりつてわらく
は世に入ぬ果しこりて身ぶとを福に
てふはこりてあるぬしと置入かこりてなるは
教へたるあつてあつてあつて伏屋へ水入ぬ事
とてこりてすこりてあつてぬしと置入は
草の物とまらこりて

一 廿二日お時こりてに世とてこりて置入は
いしとてあつてあつてあつてあつてあつて
とてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
社とてあつてあつてあつてあつてあつてあつて

あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて

あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて

一 凡口...
か

一 鏡...
ら

みちの...
ら

...
ら

...
ら



